

平成29年3月期第2四半期 連結決算説明資料

 **和弘食品株式会社**

2016年11月4日

証券コード 2813



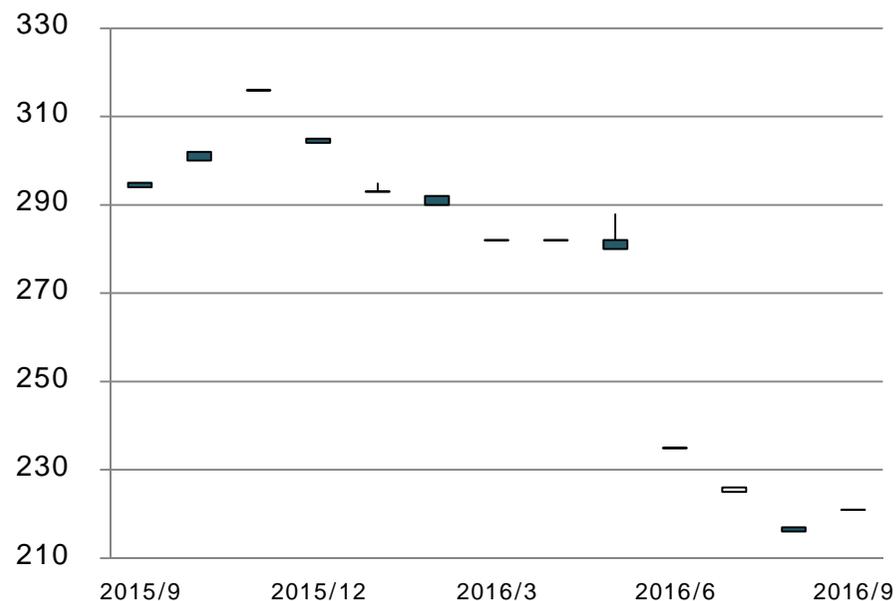
- 1 . 平成29年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト
- 2 . 平成29年3月期 第2四半期 連結決算概要
- 3 . 平成29年3月期 連結業績予想実績

1 . 平成29年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト

株式情報

和弘食品株式会社（証券コード2813）	
業種	食品製造業
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード）
発行済み株式総数	9,493,193株（自己株式含む）
優待制度	あり（北海道産海産物詰合せ）
売買単位	1,000株

株価推移



主要な経営指標等

（百万円）

連結	平成27年3月期2Q	平成28年3月期2Q	平成29年3月期2Q
売上高	2,904	3,415	3,862
営業利益	53	77	31
四半期純利益	42	19	80
総資産	6,273	6,693	6,649
純資産	4,160	4,263	3,871
営業活動によるキャッシュフロー	109	62	105
投資活動によるキャッシュフロー	381	337	197
財務活動によるキャッシュフロー	378	20	138
自己資本比率（%）	66.3	63.7	58.2
1株当たり四半期純利益（円）	5.22	2.43	9.78

2 . 平成29年3月期 第2四半期 連結決算概要

当社グループは、親会社である和弘食品(株)と連結子会社であるWAKOU USA INC. により構成されております。

また、グループ会社間取引は少額であり、連結決算への影響も軽微であることから和弘食品(株)及びWAKOU USA INC.それぞれの業績分析をもって決算説明とさせていただきます。

なお、和弘食品(株)の業績分析は5ページから10ページ、WAKOU USA INC. の業績分析は11ページから13ページであります。

- ・売上高は外食市場及び中食市場向け業務用製品が牽引、前期比10.5%増の3,764百万円。

業務用製品：前期1,601百万円



当期1,887百万円（前期比17.9%増）

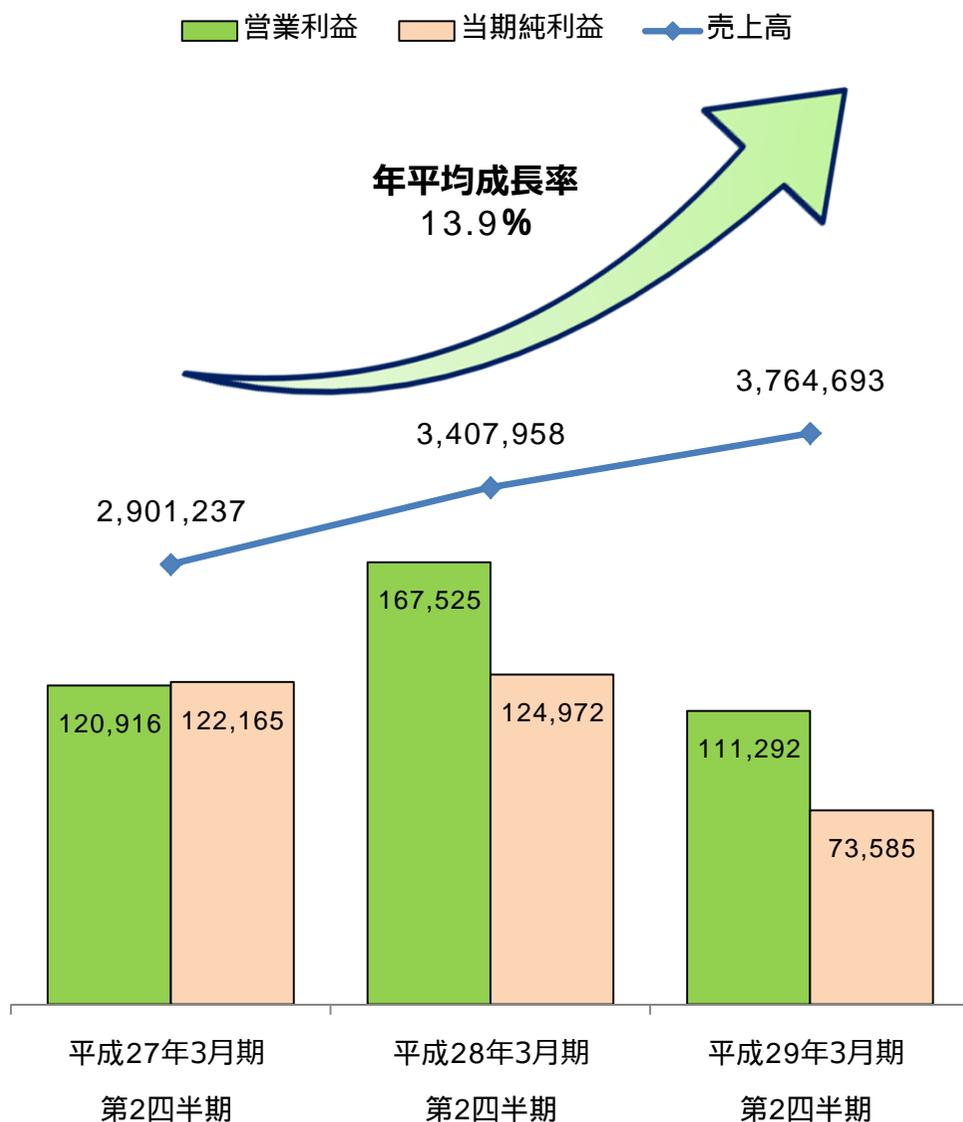
- ・更なる販売拡大に向けた人員確保・最新製造設備等の導入により主に製造固定費が増加。営業利益以下は減益。

営業利益は、前期比33.6%減の111百万円

経常利益は、前期比38.9%減の110百万円

四半期純利益は、前期比41.1%減の73百万円

提案型営業の強化により前期実績・当初予想を上回る増収。売上高年平均成長率は13.9%



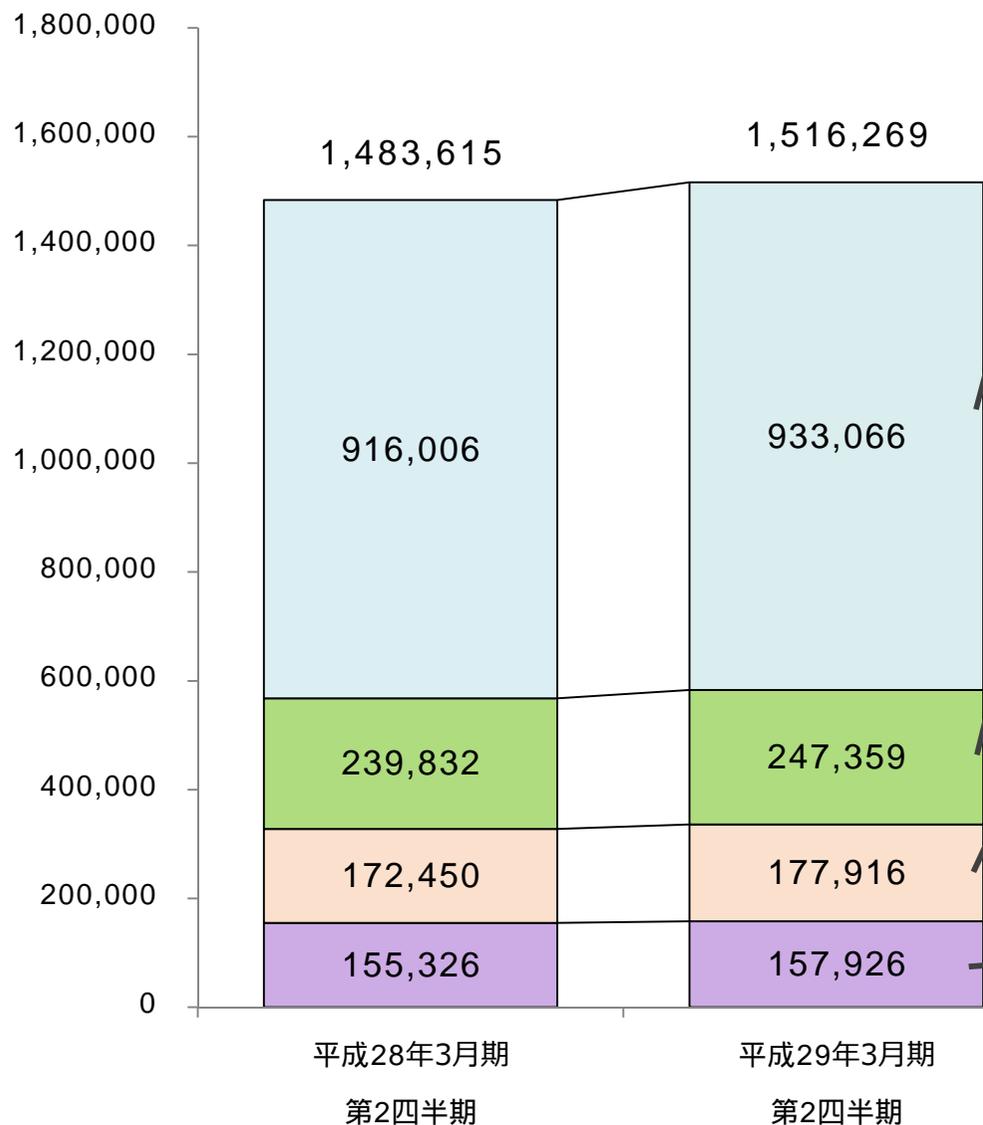
単位：千円	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	対前年増減額／率	
別添用	1,483,615	1,516,269	32,653	2.2%
業務用	1,601,073	1,887,348	286,274	17.9%
天然エキス	112,637	106,158	6,479	5.8%
商品等	210,631	254,918	44,286	21.0%
売上高	3,407,958	3,764,693	356,735	10.5%

売上原価	2,562,627	2,900,865	338,238	13.2%
販売費及び 一般管理費	677,804	752,535	74,730	11.0%
営業利益	167,525	111,292	56,232	33.6%

営業外収益	17,725	7,209	10,516	59.3%
営業外費用	4,212	7,867	3,655	86.8%
経常利益	181,038	110,634	70,404	38.9%

特別利益		49	49	
特別損失	1,623	4,050	2,427	149.6%
法人税等	54,442	33,048	21,394	39.3%
四半期純利益	124,972	73,585	51,387	41.1%

単位：千円



別添ラーメン (+1.9%)

量販店向け冷麺スープ・ラーメンスープ、大手外食チェーン向け鶏塩系ラーメンスープが好調に推移。
前年同期実績を上回った。

別添その他 (+3.1%)

大手コンビニチェーン向けおでんつゆ、たまごスープ、量販店向け天ぷら油、オリーブ油が好調に推移。
前年同期実績を上回った。

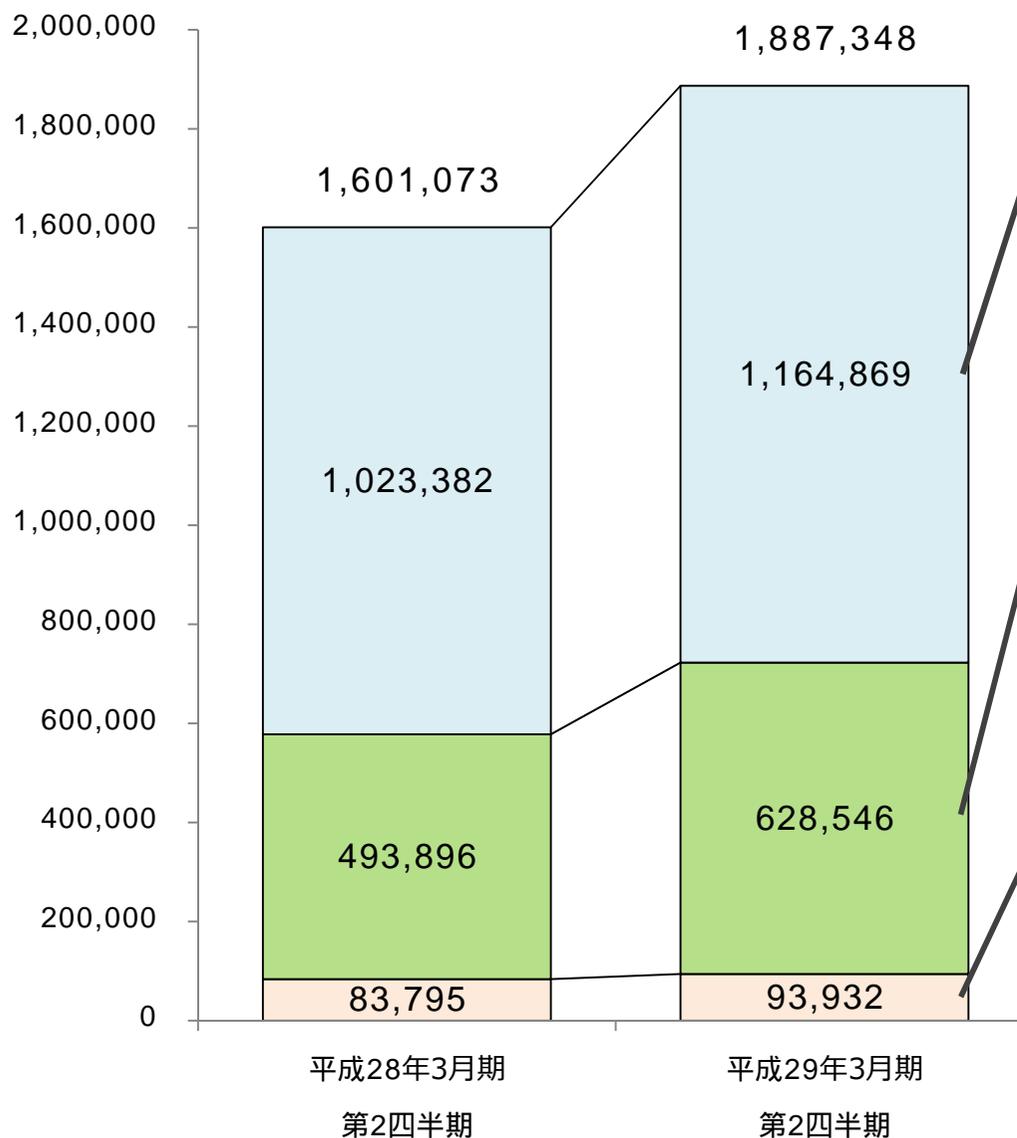
別添冷し (+3.2%)

量販店向け冷し中華のタレが好調に推移。
前年同期実績を上回った。

別添めんつゆ (+1.7%)

大手コンビニチェーン向けうどん・蕎麦つゆの売上はやや低調に推移したが、外食チェーン向けうどんつゆの売上が好調に推移。

単位：千円



業務用ラーメン (+13.8%)

大手外食チェーン向け豚骨、魚介系醤油ラーメンスープ、大手コンビニチェーン向けの味噌・醤油系ラーメンスープが好調に推移。売上高を牽引。

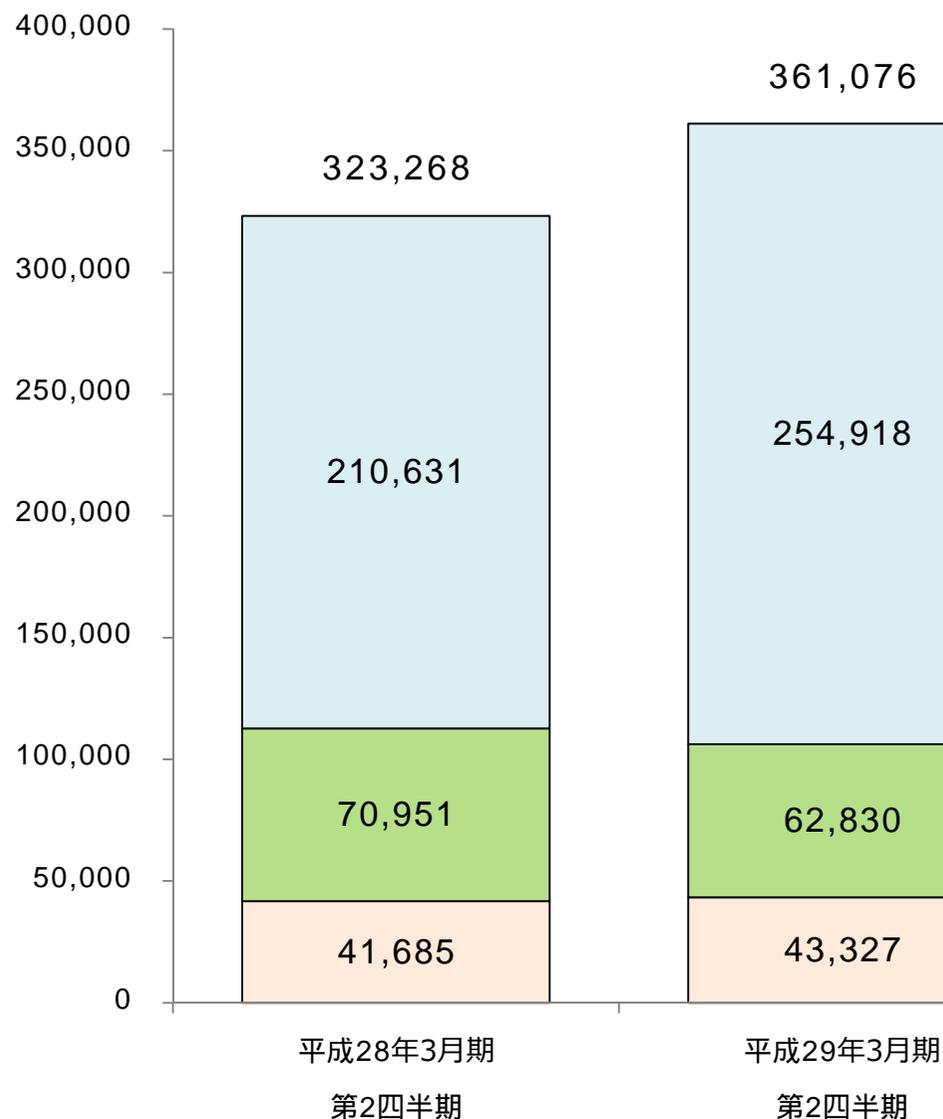
業務用その他 (+27.3%)

量販店向けオリーブ油、大手コンビニチェーン向けあんかけのタレ、大手外食チェーン向け焼き鳥のタレ、鍋だし、丼のタレが好調に推移。前年同期実績を上回った。

業務用めんつゆ (+12.1%)

大手外食チェーン向けうどんつゆ、そばつゆが好調に推移。前年同期実績を上回った。

単位：千円



商品・その他 (+21.0%)

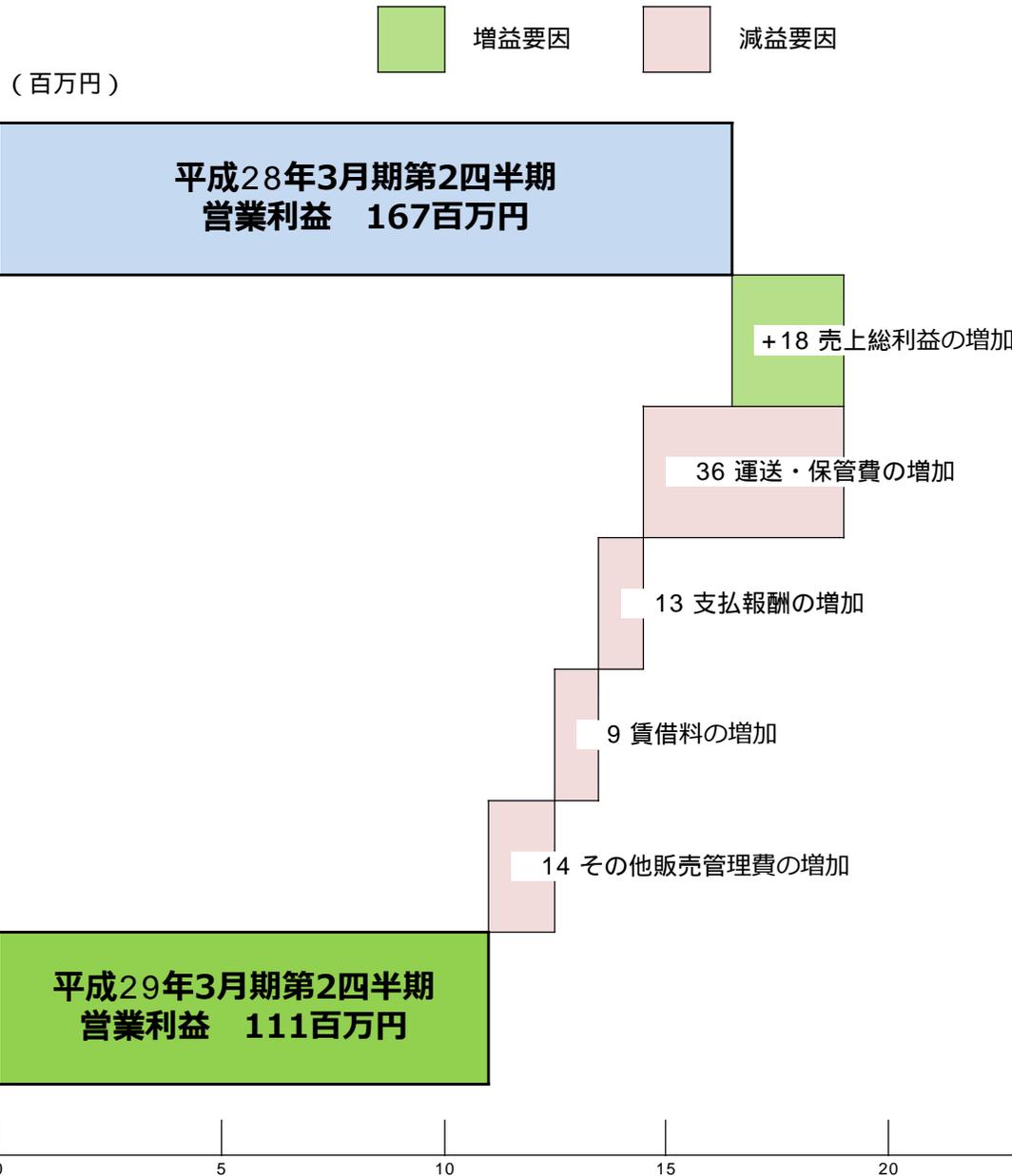
ラーメンチェーン店向けガラスープ商品、畜肉系商品の売上が好調に推移。
前年同期実績を上回った。

天然エキス水産 (-11.5%)

オホーツク海の水タテ漁の漁獲高減少に伴いホタテエキスの販売量が減少。
ホタテエキスの売上に影響を与え、前年同期実績を下回った。

天然エキス畜肉 (+3.9%)

ポーク系・鶏系エキスの売上が好調に推移。
前年同期実績を上回った。



増減要因	原因分析
売上総利益の増加	<p>売上総利益額は増加したが、利益率は減少。主な原因として以下の販売拡大に向けた設備投資等により売上原価率が1.9%増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産能力強化に係る製造人員の確保。 生産性向上に係る最新製造設備の導入。
運送・保管費の増加	<p>売上増加に伴い下記の費用が増加。</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷蔵・冷凍製品の売上増に伴い冷蔵・冷凍便による運送費の増加。 売上増に伴う倉庫保管料の増加。
支払報酬の増加	<p>生産量の増加に伴い下記の費用が増加。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産性向上を目的とした外部コンサルティング費用の増加。 人材確保に係る人材紹介料の増加。
賃借料の増加	<p>売上増加に対応すべく下記事務所を移転。以下の事務所賃借料がそれぞれ増加。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京支店 5百万円 東北支店 1百万円 開発部門 1百万円

- 売上高は前期比較90百万円増の109百万円。

売上増の内訳：製品売上76百万円
輸入商品売上14百万円

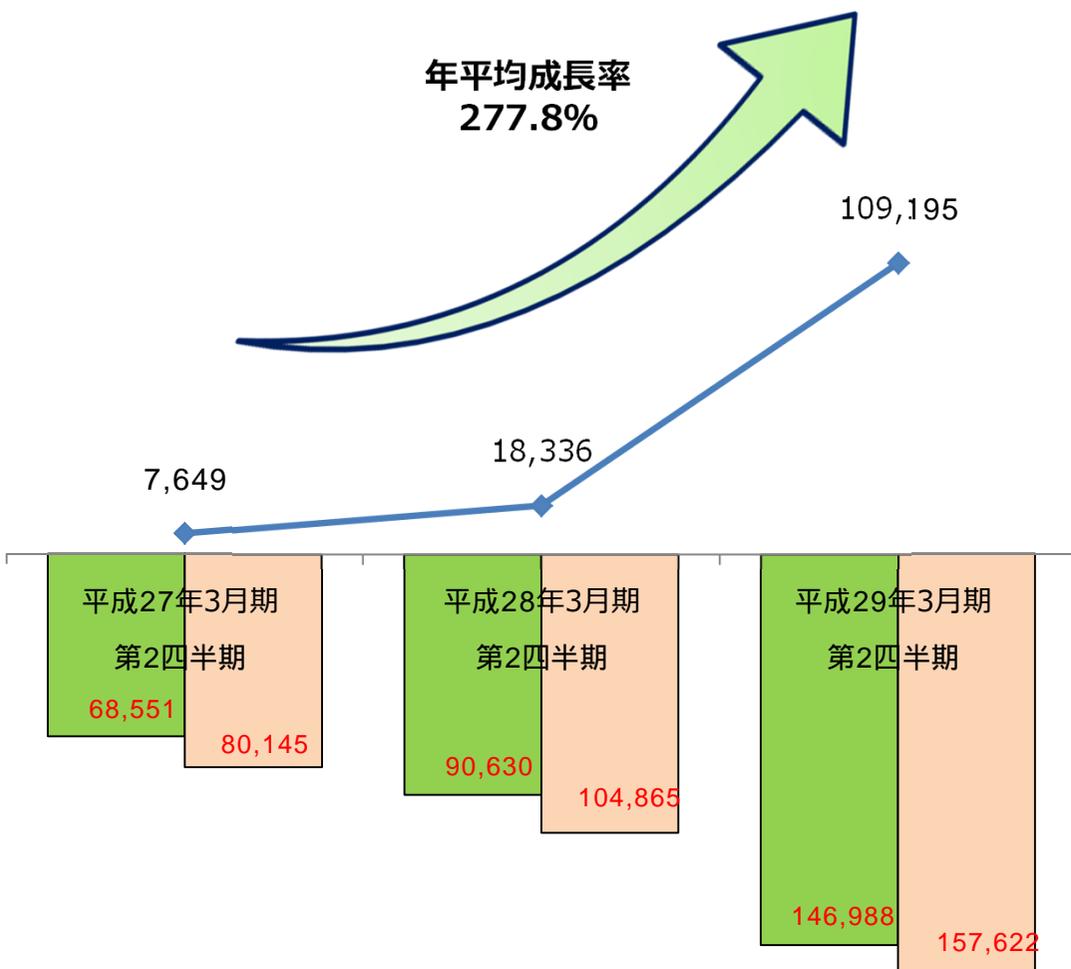
- 工場稼働により主に以下の売上原価が発生。

減価償却費 77百万円発生
原材料費 41百万円発生
労務費 30百万円発生

前年同期である平成28年3月期第2四半期では日本からの輸入商品の販売活動をメインに行っており、製造販売は行っていない為、製造原価は前年同期においては計上されておられません。

売上は好調に推移、売上高年平均成長率は277.8%。工場稼働による売上原価の増加により減益。

営業利益 当期純利益 売上高



単位：千円	平成28年3月期第2四半期	平成29年3月期第2四半期	対前年増減額／率	
売上高	18,336	109,195	90,858	495.5%
売上原価	17,497	175,213	157,716	901.4%
売上総利益	839	△66,018	66,858	

販売費及び一般管理費	91,470	80,969	10,500	11.5%
営業利益	△90,630	△146,988	56,357	

営業外収益	26	172	146	560.5%
営業外費用	14,163	10,521	3,642	25.7%
経常利益	△104,768	△157,337	52,568	

特別利益	—			
特別損失		200	200	
法人税等	97	84	13	
当期純利益	△104,865	△157,622	52,756	

平成28年3月期第2四半期は1ドル=121.73で計算しております。
平成29年3月期第2四半期は1ドル=105.16で計算しております。

(千円)

平成28年3月期第2四半期 営業利益	90,630	原因分析
売上総利益の減少	△66,858	工場稼働により主に以下の売上原価が発生。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 減価償却費 77,843千円発生 ・ 原材料費 41,302千円発生 ・ 労務費 30,476千円発生
運送費及び保管費の増加	1,546	売上増加に伴う商品保管料、運送費の増加。
その他の販管費の減少	+12,047	
平成29年3月期第2四半期 営業利益	146,988	

3 . 平成29年3月期 連結業績予想実績

業績予想を修正

- ・売上高は予想を上回ったが、営業利益以下は販売拡大に向けた人員確保・設備投資による固定費の増加等により当初予算を下回った。

和弘食品(株)

- ・売上については引続き好調である業務用調味料市場の拡販に注力。
- ・増加した原価については人材育成・最新製造設備の導入により生産能力及び生産性向上を強化し、原価圧縮を図る。

内訳：売上高	7,320百万円
営業利益	295百万円
当期純利益	193百万円

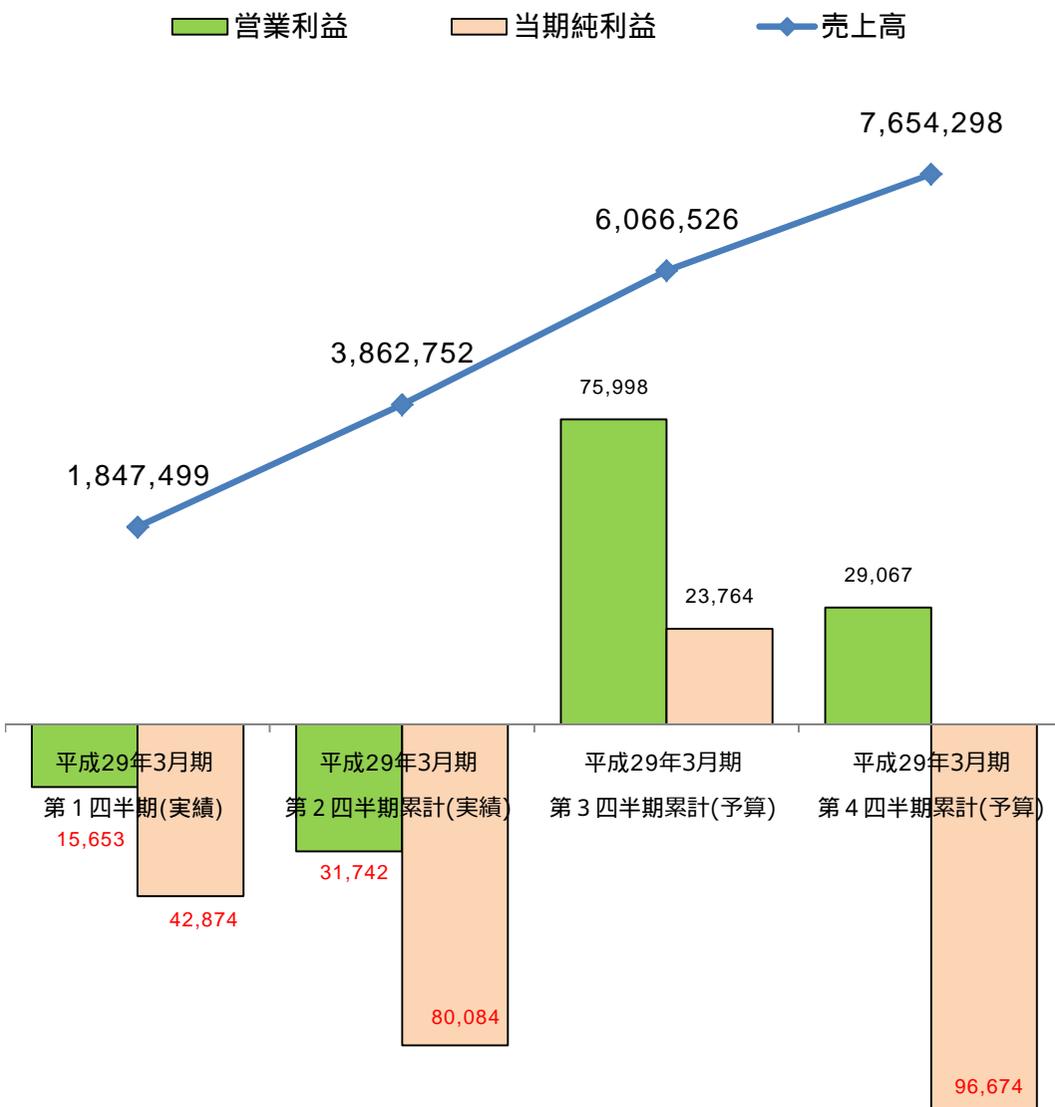
WAKOU USA INC.

- ・米国市場における業務用調味料市場の開拓、拡大が最優先事項。
- ・現地製造販売の本格化に伴う労務費、減価償却費の増加により減益を見込む。

内訳：売上高	351百万円
営業利益	△269百万円
当期純利益	△293百万円

連結業績予想実績

当初予算と比較し、売上高は増収、営業利益以下は更なる拡販に向けた設備投資等から減益となる見通し。



単位：千円	平成29年3月期 第2四半期 (当初予想)	平成29年3月期 第2四半期 (実績)	対当初予算増減額 / 率	
売上高	3,701,042	3,862,752	161,709	4.4%
売上原価	2,928,182	3,060,989	132,807	4.5%
売上総利益	772,860	801,762	28,902	3.7%

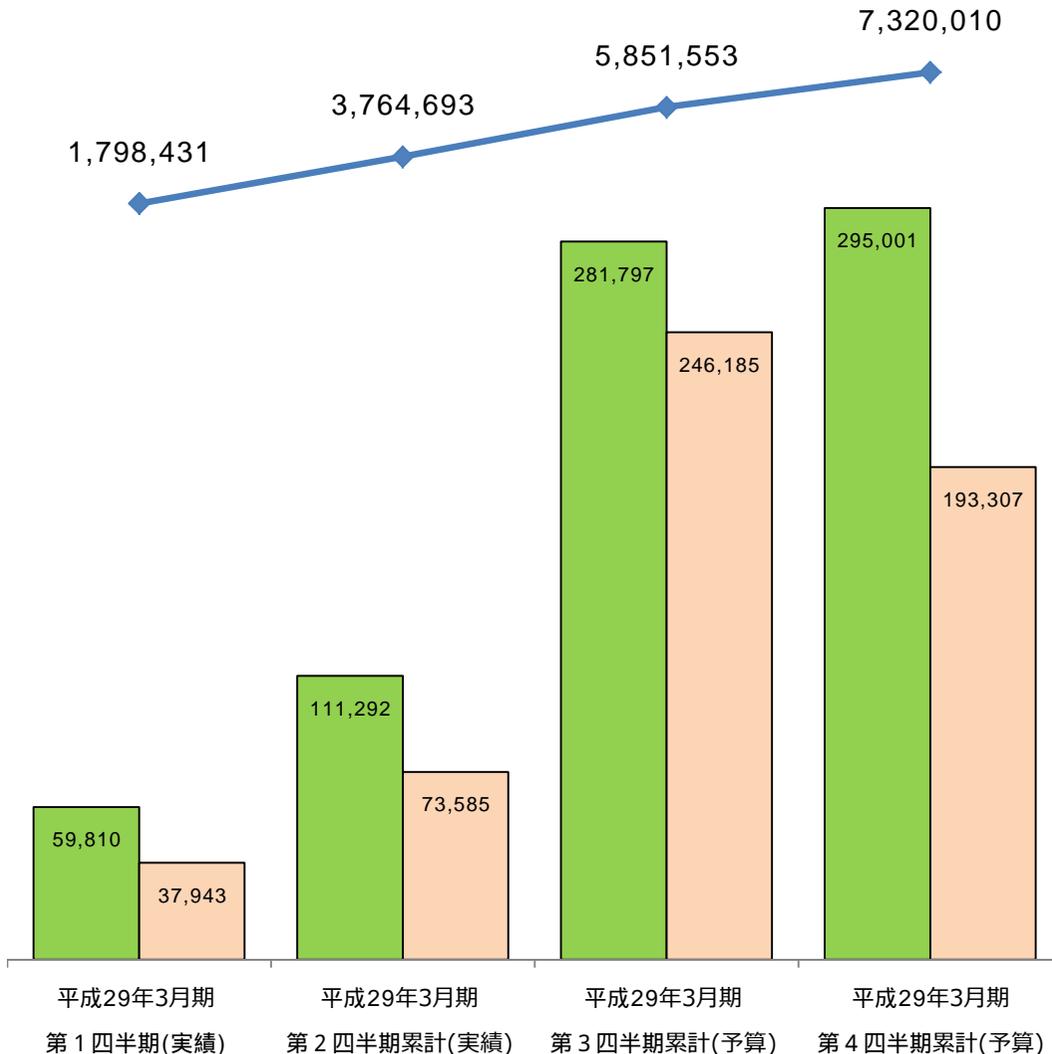
販売費及び 一般管理費	758,746	833,505	74,758	9.9%
営業利益	14,113	△31,742	45,856	

営業外収益	6,750	7,378	628	9.3%
営業外費用	18,783	16,751	2,032	10.8%
経常利益	2,080	△41,114	43,195	

特別利益	—	49	49	
特別損失	2,000	4,251	2,251	
法人税等	61,438	34,767	26,670	
四半期純利益	△61,357	△80,084	18,726	

和弘食品(株)業績予想実績（参考）

■ 営業利益
 ■ 当期純利益
 ◆ 売上高



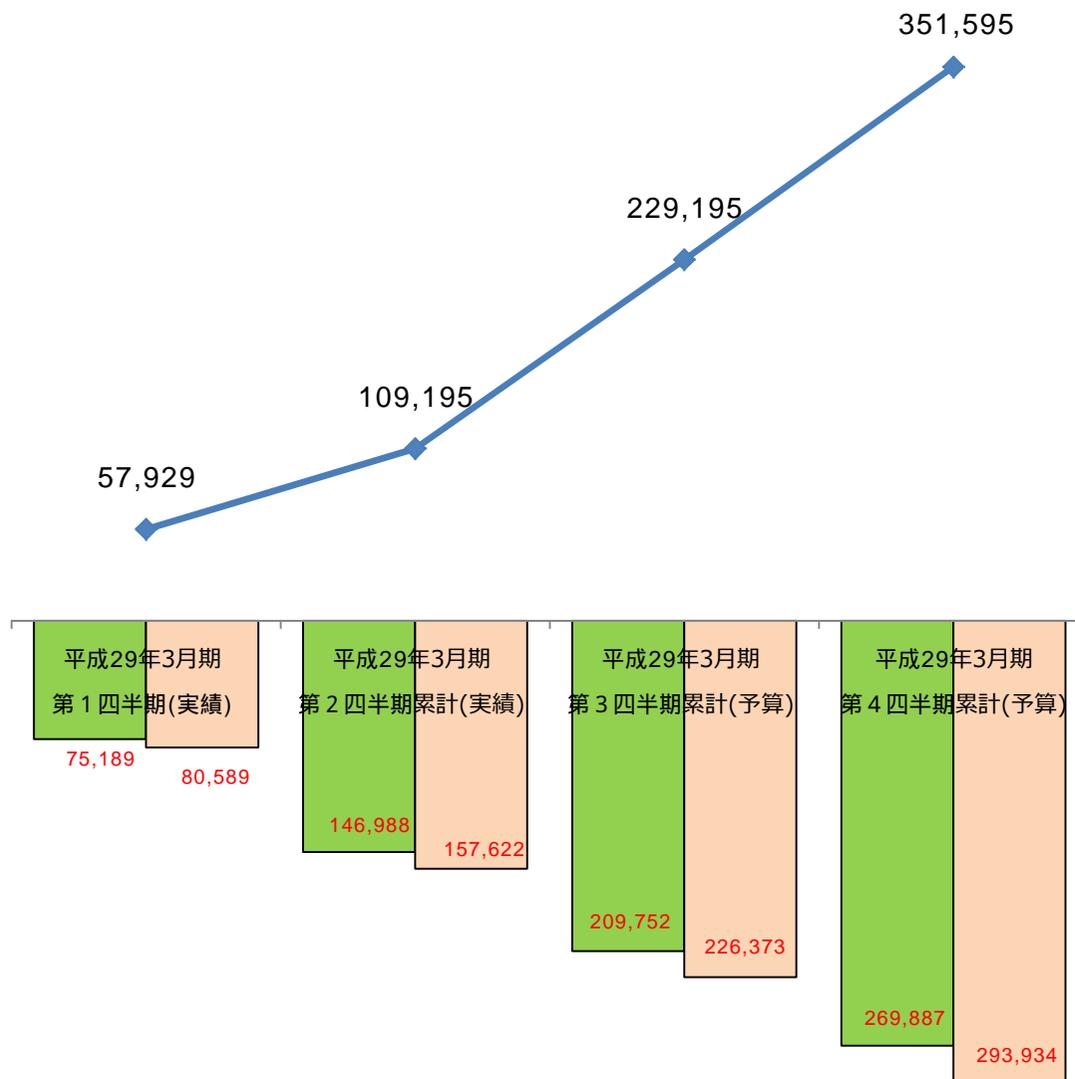
単位：千円	平成29年3月期 第2四半期 (当初予想)	平成29年3月期 第2四半期 (実績)	対当初予算増減額 / 率	
売上高	3,549,683	3,764,693	215,010	6.1%
売上原価	2,699,624	2,900,865	201,240	7.5%
売上総利益	850,058	863,828	13,769	1.6%

販売費及び 一般管理費	675,251	752,535	77,284	11.4%
営業利益	174,806	111,292	63,514	36.3%

営業外収益	6,750	7,209	459	6.8%
営業外費用	5,610	7,867	2,257	40.2%
経常利益	175,946	110,634	65,312	37.1%

特別利益		49	49	
特別損失	2,000	4,050	2,050	
法人税等	61,438	33,048	28,389	
四半期純利益	112,508	73,585	38,960	34.6%

■ 営業利益
 ■ 当期純利益
 ◆ 売上高



単位：千円	平成29年3月期 第2四半期 (当初予想)	平成29年3月期 第2四半期 (実績)	対当初予算増減額 / 率	
売上高	177,600	109,195	68,404	38.5%
売上原価	254,797	175,213	79,583	31.2%
売上総利益	△77,197	△66,018	11,178	14.5%

販売費及び 一般管理費	83,495	80,969	2,525	3.0%
営業利益	△160,692	△146,988	13,704	8.5%

営業外収益		172	172	
営業外費用	13,173	10,521	2,652	20.1%
経常利益	△173,866	△157,337	16,529	

特別利益	—			
特別損失		200	200	
法人税等		84	84	
四半期純利益	△173,866	△157,622	16,244	

平成29年3月期第2四半期（予想）は1ドル=120.00で計算しております。
 平成29年3月期第2四半期（実績）は1ドル=105.16で計算しております。